

鳥獣けものみち

創刊

これ以上、
獣の好きにはさせられない！

獣害対策

イノシシによる農作物被害が拡大しています！！

近年の小雪により野生動物が増えており、なかでも、水稻に大きな被害をもたらしているのが「イノシシ」です。長岡市では電気柵設置による被害防除を推進しつつ、鳥獣被害対策実施隊（猟友会等で構成）が、田んぼなどを荒らす鳥獣の駆除を行っています。

令和2年度は2月末までに53頭のイノシシを捕獲しました。



①イノシシ被害を受けたほ場

イノシシの習性「ぬたうち(※)」によって被害を受け、せっかく育てたお米を収穫できませんでした。

※「ぬたうち」とは泥浴びのことです。

②被害の翌年、電気柵を設置して対策！無事に収穫することができました。

↓集落で電気柵を設置



③鳥獣被害対策実施隊

イノシシなどから市民生活、農林水産業を守るため、日々活動しています！ぜひ一緒に活動しませんか？

「集落ぐるみの対策が大事」 地域からの声

インタビュー1

小向集落(栃尾)

川上新吉さん、集落のみなさん



■平成25年から集落ぐるみの獣害(サル)対策に取り組む、小向集落のみなさんに話を伺いました。

Q 就獣害対策に取り組み始めたきっかけを教えてください。

対策を始める前、畑の作物がサルに荒らされ、散々なものでした。

そこで、市に依頼した、研修会を受け、当時の区長がリーダーシップを發揮し集落内で「鳥獣対策会議」を発足したんです。

会議には農家・非農家関係なく、28人が参加しています。予算は決して多くないですが、共同作業で頑張っています。

Q どのような対策をされているのですか？

始め、クルミの木や雑木などを切り周辺の環境を整備しました。サルは枝から枝に移動するので、集落に來にくくなるんです。切った木からはキノコが取れ、一石二鳥です(笑)。

また、市の補助や自費で電気柵を設置し被害を抑えています。雑草の管理が大変ですが、除草剤とネットを組み合わせるなど、工夫して管理しています。(写真)

若手猟師に聞いてみた 「YOUはどうして猟師に？」

長岡市鳥獣被害対策実施隊

本間裕司さん(中之島)



インタビュー2

■令和2年から、実施隊の隊員となった本間さんに話を伺いました。

Q どうして猟師になったのですか？

自然や山での活動が好きで、狩猟に興味を持ちました。狩猟では、日常とは違う緊張感があり、身が引き締まります。

Q 猟師になるには？

狩猟免許を取得する必要があります。取得方法は、県のホームページや市役所に聞くのがオススメです。市の補助金も利用しました。免許を取得した後は猟友会に入り、ベテラン猟師さんに、銃の撃ち方など、指導いただいています。

Q 実施隊ではどのような活動を？

農作物被害防止のため、鳥類の駆除に参加しました。1年間ベテラン猟師と一緒に活動したことで、「準備運動」ができたと思います。

Q 今後の意気込みを教えてください。

まずは猟師としての技術を学び、市から依頼があれば駆除活動で地域貢献したいと考えています。被害が拡大しているのので、イノシシ捕獲にもチャレンジしたいと思います！

地域ぐるみの獣害対策に、ぜひご活用ください！

長岡市では様々な支援・補助を用意しています。詳しい内容は下記担当にお問い合わせください。

① 研修会

獣害対策(イノシシ・サル等)、電気柵の張り方など、集落の状況に合わせた研修会を開催しています。

■対象/農家組合、集落

② 電気柵の貸出し

イノシシ、サル用電気柵を貸出しています。導入の流れなど、詳しくはお問い合わせください。

■対象/農家組合等

※数に限りがあります、ご相談はお早めに。

③ 果樹伐採の補助

手入れされない果樹はクマ、サルを呼び寄せます。いらぬ果樹の伐採費用を補助します。

■対象/集落等 最大50,000円

④ 小型動物(ハクビシンなど)わなの購入補助

■対象/農家組合等 最大36,000円

⑤ 狩猟免許取得の補助

わな最大10,000円 猟銃最大54,000円

対象:市の実施隊に参加して下さる方

担当/長岡市 農林水産部 鳥獣被害対策課(ながおか市民センター5階) Tel.0258-39-2348